



2025年5月9日

各 位

会社名 アイサンテクノロジー株式会社
 代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
 (東証スタンダード・名証メイン コード: 4667)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典
 (Tel 052-950-7500)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年5月9日開催の取締役会において、以下のとおり、2024年5月10日に開示した2025年3月期(2024年4月1日~2025年3月31日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

(1) 2025年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異(2024年4月1日~2025年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,000	百万円 350	百万円 335	百万円 221	円 銭 40.60
実績値(B)	6,220	449	445	286	53.07
増減額(B-A)	220	99	110	65	—
増減率(%)	3.7%	28.4%	32.9%	29.5%	—
(参考)前期連結実績(2024年3月期)	5,478	449	455	340	62.52

(2) 差異の理由

当社グループでは、2024年4月より開始となる55期を皮切りにFY2024_2026中期経営計画(Development & Evolution)を策定し、事業活動を行ってきました。本計画は、「既存事業の価値の最大化と新たな価値の創造」に取り組むべく「資本コストを意識した経営の実践」をグループ全体に浸透させ、持続的成長を目指すことを骨子としております。加えて、前中期経営計画の反省を基に、積極的な人財獲得を推し進めつつ、社員のスキルアップも並行して展開する人的資本経営を進めてまいりました。

その結果、新たな三次元点群処理ソフト「ANIST」のリリースや新たな三次元計測機器の登場により、お客様への提案する商材を増やすことができました。また、各子会社を含め、MMS(Mobile Mapping System)機器販売、高精度三次元地図の作成請負業務及び2027年の自動運転サービス実用化に向けた自動運転実証実験請負、自動運転車両の構築請負、公共及び民間からの測量業務委託など、多方面より受注獲得を行い、順次その対応を進めてきました。また、昨年度に子会社であるA-Drive株式会社と共に参画した全国各地の地域公共交通確保維持改善事業(自動運転社会実装推進事業)は、昨年度は国土交通省より一昨年度以上となる99か所の採択を行った旨が公表されており、当社グループにおいても前連結会計年度以上の25地

域の採択状況となり、その実証を行いました。

一方で、当社グループの事業活動のコアとなる人財補強に取り組んでまいりましたが、採用市場における競争激化の中、新卒採用、キャリア採用とも採用計画人数を下回り、販売管理費及び一般管理費においては、計画を下回りました。

以上の結果、各利益項目において当初の計画を上回る実績となりました。

以上